

式 辞

万物に生命の息吹を感じる季節となりました。本日ここに、御来賓の皆様の御臨席と保護者の皆様の御列席を賜り、令和四年度愛媛県立南宇和高等学校入学式が挙げてきますことは、在校生並びに教職員一同大きな喜びであります。学校を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可しました九十九名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、これまでずっとお子様を温かく支えてこられた保護者の皆様、お子様の御入学、誠にありがとうございます。

本校は、今年、創立百十五年目を迎えた、文武両道で県内屈指の伝統校です。野球を見ることが大好きだった私が、最初に覚えた愛媛県出身のプロ野球選手は、この南宇和高校からドラフト1位で南海ホークス（現ソフトバンクホークス）に入団した藤田学さんでした。その後も、法政大学を経てドラフト1位で日本ハムに入団した田中富雄さん、男子サッカー部の全国高校選手権大会優勝、今春の陸上競技部と相撲部の全国大会出場、エシカル甲子園などでの地域振興研究部の活躍など、文武に渡る南校（なんこう）の輝かしい歴史は、燦然と輝いています。

一方で、少子化、新型コロナと、次々と荒波が押し寄せる現実もあります。しかし、憂いてばかりいても何も始まりません。私はここに赴任できて、とてもワクワクしています。地域の皆様が南高をととても応援してくれていることが、すぐにわかりました。その地域の方々と一体になって、我々教職員は、皆さんを愛したいと思えます。まずは、ここに縁あって集えたことを喜びましょう。「喜べば、喜びごとが喜んで、喜び集めて、喜びに来る」です。これは、日本の吹奏楽会の発展に大いに貢献された助安由吉（すけやす よしきち）さんの言葉です。もう一度、「喜べば、喜びごとが喜んで、喜び集めて、喜びに来る。」

保護者の皆様、私たちは、生徒の限りない可能性を信じ、心が揺さぶられる学校生活になるよう全力でサポートします。どうぞ、御支援・御協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

それでは、新入生の皆さん、先輩たちと一緒に勉学に部活動に励み、文武両面で南校の名を全国にとどろかせましょう。皆さんの大いなる成長を祈念して、式辞といたします。

令和四年四月八日 愛媛県立南宇和高等学校長 井上 浩